

<b>市政だより発行業務</b> (予算額 99,216千円)		総合政策部広報課 広報広聴係 (23 - 6318)
財源内訳	諸収入 907千円、一般財源 98,309千円	
支出内訳	2款1項3目 広報費 / 事業協力者報償金 95千円、印刷製本費 86,254千円、市政だより等配布委託料 12,867千円	

## 2019年10月から 市政だよりをリニューアルし、月1回発行に移行します

### 現在

- ・ 1日号、15日号の毎月2回発行
- ・ 1日号 = カラー刷り、約24ページ  
15日号 = 2色刷り、約16ページ 計約40ページ



### 2019年10月1日号から

- ・ 1日号のみ毎月1回発行
- ・ 全ページカラー刷り、32~36ページへ
- ☆より見やすく読みごたえのある広報紙に！

### メリット

全ページカラーにすることにより、視覚的に見やすくなる。  
町内会にお願いしている各世帯への配布が、月1回になることで、  
配布回数の負担が軽減される。

### さらに

広告欄を設けることで財源確保にも努めます。



<b>政策企画支援業務</b> 〔予算額 30,597千円〕		総合政策部企画課 企画係(23-6811)
財源内訳	国庫支出金 7,024千円、一般財源 23,573千円	
支出内訳	2款1項11目 企画費／委員報酬 285千円、費用弁償 36千円、特別旅費 63千円、食糧費 12千円、政策企画推進支援委託料 29,537千円、会場使用料 184千円、自転車使用料 480千円	

### 【事業概要】

分野横断的又は中長期的な政策課題に対する政策研究・立案を行うために必要な調査等を実施します。

### 【主な事業】

#### ◎サイクルシェア実証実験

- ・ 市民や職員のシェア意識高揚、近場への車移動手段を自転車に変えてCO2削減に寄与すること、QURUWAエリア内での移動手段の提供などを目指し、電動アシスト付自転車のシェアリング実証実験（3年目）を行います。
- ・ 季節変動やポート増設をはじめとする実験の結果と利用者アンケートの分析を踏まえ、新たに岡崎駅周辺を対象エリアとすることを視野に、ポート増設と自転車を増台します。
- ・ 併せて、3年が経過する2019年度末には民間事業者へ事業譲渡できるよう、検討を進めます。

#### ◎岡崎駅西口自転車等駐車場用地活用支援

- ・ 駅前用地の有効活用に向けて、自転車等駐車場を含めた複合施設の整備を民間主体で行うために、事業者の提案を募集します。

#### ◎（仮称）三河地域新幹線駅利用促進期成同盟会設立

- ・ スーパーメガリージョン（3大都市圏同一地域）時代を見据え、三河地域での経済・観光活動をより高めるため、豊橋・三河安城駅の新幹線増便に向け、三河地域全体（18市町村の自治体・経済界）で期成同盟会を設立します。



新規	コンベンション施設整備業務(予算額 23,174千円)		総合政策部企画課
			公民連携係(23 - 6652)
財源内訳	一般財源 23,174千円		
支出内訳	2款1項11目 企画費 / 委員報酬 285千円、費用弁償 91千円、食糧費 2千円、土地鑑定手数料 1,995千円、契約等支援委託料 20,801千円		

## 【事業概要】

「乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画(QURUWA戦略)」に掲げたプロジェクトの一つとして、市有地である「太陽の城跡地(岡崎市明大寺本町一丁目地内)」を活用し、地域や経済の成長を後押しするコンベンション施設の整備や民間ホテルの誘致を始め、市民や来街者の暮らし、生きがい、健康づくり等に資する民間主体の乙川河川空間の活用などの各事業を、公民連携の積極的な活用のもと、一体的に進めます。

## 【事業スケジュール(予定)】

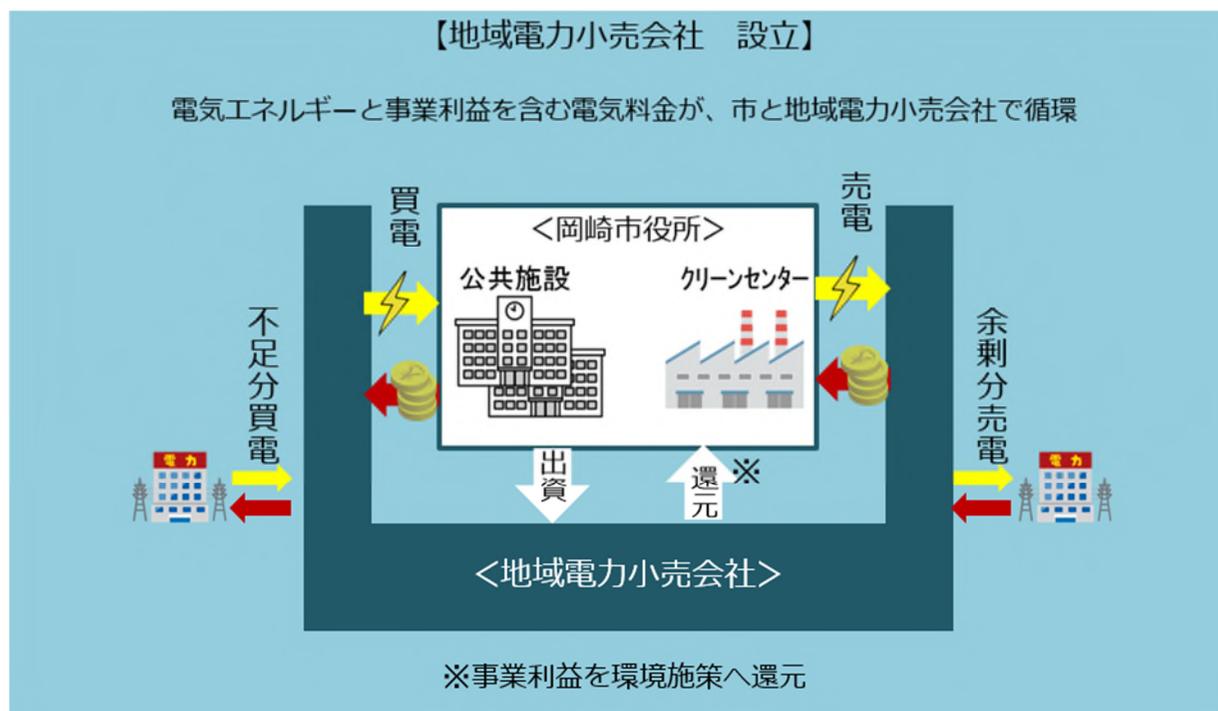
- 2019年度 事業者募集ほか
- 2020年度 設計、解体工事ほか
- 2021年度～ 建設工事ほか
- 2022年度末の開業を目指します。



<b>地域電力小売事業推進支援業務</b> (予算額 11,848千円)		総合政策部企画課 企画係 (23 - 6811)
財源内訳	国庫支出金 2,750千円、一般財源 9,098千円	
支出内訳	2款1項11目 企画費 / 委員報酬 190千円、費用弁償 93千円、特別旅費 63千円、食糧費 2千円、地域電力小売事業推進支援委託料 5,500千円、(仮)岡崎市地域電力小売会社出資金 6,000千円	

### 【事業概要】

エネルギーの地産地消による環境に配慮した低炭素社会の実現に向け、新たに地域電力小売会社を設立し市内公共施設へ効率的にエネルギーを供給します。併せて、これまで市外に流出していた事業利益を環境施策へ活用する事業利益還元も図ります。来年度は設立に向けたパートナー企業の公募・選定をします。



<b>シティプロモーション推進業務</b> (予算額 50,457千円)		総合政策部広報課 シティプロモーション推進係(23 - 6985)
財源内訳	諸収入 1,700千円、一般財源 48,757千円	
支出内訳	2款1項11目 企画費 / 特別旅費 550千円、消耗品費 3,533千円、印刷製本費 1,995千円、広告料 2,641千円、洗濯料 5千円、看板製作委託料 575千円、ホームページ運用管理委託料 330千円、シティプロモーション活動推進支援委託料 37,572千円、ホームページ改修委託料 1,881千円、著作権使用料 1,375千円	

将来にわたり、市が活力を維持し持続的に発展するため、**魅力づくりと情報発信**を軸にシティプロモーション活動を推進していきます。

第2期アクションプラン(2018~2020年度)の目的：「岡崎を好きになってもらう」×「岡崎との関係を深めてもらう」＝「**関係市民**」を増やしていく

